

**平成21年度環境技術実証事業検討会**  
**VOC 排出抑制技術・脱臭技術分野**  
**(中小事業所向け VOC 排出抑制技術・脱臭技術)**  
**ワーキンググループ会合(第2回)**  
**議事概要(案)**

---

1. 日時：平成21年5月27日 10:00～12:00

2. 場所：航空会館 501号室

3. 議題

- (1) 実証機関の募集について
- (2) 実証機関への申請団体からのヒアリング
- (3) 実証機関の選定について
- (4) 実証技術の募集方法等について
- (5) その他

4. 出席検討員：岩崎委員(座長)、尾形委員、木下委員、島田委員、土井委員、  
中杉委員、本田委員

オブザーバー：財団法人九州環境管理協会、社団法人埼玉県環境検査研究協会

5. 配布資料

- 資料1 平成21年度環境技術実証事業検討会 VOC 処理技術分野(中小事業所向けVOC処理技術)ワーキンググループ会合(第1回)議事概要(案)
- 資料2 平成21年度環境技術実証事業 VOC排出抑制技術・脱臭技術分野「中小事業所向けVOC排出抑制技術・脱臭技術 実証試験要領」の策定及び実証機関の公募の開始について(お知らせ)
- 資料3 平成21年度環境技術実証事業 VOC排出抑制技術・脱臭技術分野 実証機関への申請書類(非公開)
  - 3-1 財団法人九州環境管理協会
  - 3-2 社団法人埼玉県環境検査研究協会
- 資料4 平成21年度環境技術実証事業 VOC排出抑制技術・脱臭技術分野 実証機関の選定における審査方法と結果の記入用紙(一部非公開)
- 資料5 VOC排出抑制技術・脱臭技術分野(中小事業所向けVOC排出抑制技術・脱臭技術)における手数料の概算の算出例と手数料予定額の明示方法例
- 資料6 平成21年度環境技術実証事業 VOC排出抑制技術・脱臭技術分野 実施計画(案)
  - 6-1 財団法人九州環境管理協会
  - 6-2 社団法人埼玉県環境検査研究協会

資料7 今後のスケジュール（案）

参考資料1 中小事業所向けVOC排出抑制技術・脱臭技術 実証試験要領（第1版）

参考資料2 実証機関の選定結果について（財団法人九州環境管理協会）（非公開）

参考資料3 手数料の概算の算出例（非公開）

## 6. 議事

会議は公開で行われた。

坂本委員（座長）が欠席のため、岩崎委員に座長をお願いして進行した。

### （1）実証機関の募集について

事務局から、資料2に基づき、実証試験要領の策定及び実証機関の公募結果について説明。

5月7日に実証試験要領（参考資料1）を策定し、また5月7日～5月22日の期間において、実証機関の応募を受け付けたところ、財団法人九州環境管理協会と社団法人埼玉県環境検査研究協会の2機関からの応募があったことを報告。

### （2）実証機関への申請団体からのヒアリング

事務局から、資料3、資料4、参考資料2に基づき、実証機関へ過去に申請していた財団法人九州環境管理協会についてはヒアリングを省略し、事務局で実証機関に選定したことを報告。また、実証機関への新規申請の社団法人埼玉県環境検査研究協会については、これからのヒアリング方法と審査方法を説明。

続いて、社団法人埼玉県環境検査研究協会に入室していただき、申請書類の説明、その後委員による社団法人埼玉県環境検査研究協会へのヒアリングを行う。

【尾形検討員】水分析、ばいじん分析での実績はわかりましたが、VOCについてはどの程度ですか。

【社団法人埼玉県環境検査研究協会】多くはないが、有害大気分析、自主規制である印刷関係での分析はあります。

【岩崎座長】埼玉県ではVOCに関する条例があり、測定は多くないですか。

【社団法人埼玉県環境検査研究協会】対象工場は多くなく、測定は多くない。印刷のような自主規制の方が多い。

【岩崎座長】他分野での実証の経験はどの程度ですか。

【社団法人埼玉県環境検査研究協会】有機排水処理分野における実証機関を過去2年行っており、各年1件の実証試験を行った。

【土井委員】VOCとして、作業環境は行っていますか。また、公定法による分析の実施件数はどの程度ですか。

【社団法人埼玉県環境検査研究協会】作業環境は行っている。公定法による分析の実施は、年20件程度です。

【島田委員】担当者の人数は多く記載されているが、VOCの経験はどのようになっていますか。

【社団法人埼玉県環境検査研究協会】採取では記載のうち調査3係が主、分析は計測3係が主、データの検証は記載の2人とも経験があります。

【木下委員】VOCに関連する業種である塗装、印刷、洗浄等で調査の経験はありますか。

【社団法人埼玉県環境検査研究協会】あります。連続測定又はバッグ捕集の経験となっています。

【岩崎座長】VOC測定機器が1台であり、実証試験で入口・出口の場合、測定では工夫が必要である。

【尾形委員】他の業務とこの実証試験が重なることは考えられませんか。

【社団法人埼玉県環境検査研究協会】VOCでの重なりはないと考えられます。重なるとすれば、事務局です。

【岩崎座長】それでは、これでヒアリングを終わります。

### (3) 実証機関の選定について

社団法人埼玉県環境検査研究協会に退出していただき、審査・選定を実施。

【尾形委員】VOCの分析等に不安が残り、これまでの実証機関である東京都環境科学研究所や九州環境管理協会に試験方法等を聞いてもらった方が良い。

【岩崎座長】このことを選定の条件としますか。

【尾形委員】事前にヒアリング等により、試験方法を知ってもらえば良い。

【九州環境管理協会】当方での試験方法等、知っていることは、社団法人埼玉県環境検査研究協会に開示し、これから連絡を取り合います。

【岩崎座長】それでは、事務局で審査結果を記入した用紙を各委員から回収し、その結果を報告してください。

【事務局】a（実証機関として適切）、b（申請内容に修正が必要）、c（不適切）の区分で、全体評価としては、全委員とも「a」でした。ただし、1件「VOC実績の不足が不安である」とのコメントがありました。

【岩崎座長】少し経験不足だが、実証機関として良いことになります。

社団法人埼玉県環境検査研究協会に入室していただき、審査の結果、実証機関として選定されたことを報告。

### (4) 実証技術の募集方法等について

○手数料の概算の算出例と手数料予定額の明示方法例について

事務局から、資料5、参考資料3に基づき、手数料の概算の算出例と手数料予定額の明示方法例について説明。

【中杉委員】実証機関における実証委員会において試験項目が増え、手数料額が資料5の技術募集時の額を超えることがあれば、まずくないか。

【岩崎座長】実証項目は委員会に任せることとなる。委員会において項目追加となり、手数料が多額となった場合には、申請者との調整（検討）となる。

【土井委員】技術募集時の手数料として、多くの追加実証項目を想定した大きな額を示すのは、よくない。

【九州環境管理協会】当方では資料5を参考として、少なくするように考えている。

【岩崎座長】実証機関における実証技術募集時には、資料5の手数料の算出例や算出額を明示方法の目安としてください。

○実証機関における実施計画について

財団法人九州環境管理協会及び社団法人埼玉県環境検査研究協会から、資料6-1、資料6-2に基づき、これからの実施計画について説明。

意見等なし

(5) その他

事務局から、資料7に基づき、平成21年度スケジュールについて（予定）説明。

本日の議事については、議事要旨を事務局の責任で作成し、後日ホームページで公開する。(委員了承)